


～短時間で適切な内容を表現する～
相談援助職の記録の書き方

日程	令和2年10月30日(金) (10:00～16:00)
対象者	介護福祉関係者 及び興味のある方 推奨職員:(中級～上級・対人援助職)
料金	会員(法人・個人)8,000円 ・ 一般10,000円
会場	振興会セミナールーム(横浜市中区山下町23番地 日土地山下町ビル9階) みなとみらい線「日本大通り」駅 3番出口 徒歩5分

複数の専門職が一人の利用者の方に関わりながら、ケアをしていく中で、記録はとても大きな役割を果たしています。利用者の方の気持ちを相談者として客観的に捉えながら、より良い支援につなげるために、相談援助職として、どのように記録に書き、どこまで書けばよいか分からない、と悩んでいる人が多いのではないのでしょうか？本研修では、援助職としての記録のあり方や書き方について、対人援助支援の際、活用できる記録方法等を紹介しながら実践的に学びます。

【 講 師 】

福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター特任准教授
 アアライ株式会社 代表取締役 **八木 亜紀子**



精神保健福祉士/米国カリフォルニア州臨床ソーシャルワーカー/国際 EAP 協会認定 EA
 プロフェッショナルアメリカと日本でソーシャルワーカーとして活躍し、帰国後(株)イープでEAP
 スーパーバイザーとして従業員支援と、臨床心理士・産業カウンセラー・保健師・PSWに
 スーパービジョンを実施、EAP 専門家養成講座を企画運営した。また筑波大学、東京学芸大学で教職員のワーク
 ライフ・バランスに関する支援、女性研究者支援に従事した。また社会福祉法人JHC板橋会ワーキング・トライで障害者
 の就労支援に携わった。現職では東日本大震災による被災者支援に携わっている。

《カリキュラム》

◆援助職に求められる記録とは

- ・ 倫理的責任と法的義務
- ・ 記録の果たす役割

◆記録が必要とされる要素とは


- ・ 面談中の記録
- ・ 情報から問題を把握
- ・ 支援計画を作成
- ・ 計画の実施
- ・ フォローアップとモニタリング


◆実践で活用できる記録のフォーマット (SOAPノート)

- ・ 専門家として適切な表現集

◆記録の実際

- ・ 高齢者施設の記録
- ・ ケアマネジャーの記録



法人名	※会員の方は必ず法人名をご記入下さい。			 (公社)かながわ福祉サービス振興会(教育事業課) 行 FAX: 045-671-0295 TEL: 045-210-0788 〒231-0023横浜市中区山下町23 日土地山下町ビル9階
事業所名				
会員種別	() 会員 () 個人会員 () 一般			
個人会員番号				
連絡先	〈住所〉 〒 ————— (自 宅 ・ 法 人 ・ 事 業 所)			
	〈mail〉	————— @ —————		
	〈電話〉	—————	〈ファックス〉 —————	
法人サービス詳細	① 特別養護老人ホーム ② 介護老人保健施設 ③ 介護付有料老人ホーム ④グループホーム ⑤ 病院 ⑥ 訪問介護 ⑦ 通所介護 ⑧ 居宅介護支援 ⑨ 障害関係() ⑩ その他のサービス()			

<参加者名簿> お申込合計人数 (名)

No.	フリガナ 氏 名	性別	ご職業	経験年数	①参加費
1		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー	年	1.会員(¥ 8,000)
			⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者		2.個人会員(¥ 8,000)
			⑧その他()		3.一般(¥ 10,000)
2		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー	年	1.会員(¥ 8,000)
			⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者		2.個人会員(¥ 8,000)
			⑧その他()		3.一般(¥ 10,000)
3		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー	年	1.会員(¥ 8,000)
			⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者		2.個人会員(¥ 8,000)
			⑧その他()		3.一般(¥ 10,000)
連絡事項					